

床上浸水 125 棟

宿南地区で大被害



床上浸水を受け多くの災害ごみが発生

台風による激しい雨で円山川、八木川、大屋川をはじめ各河川が増水し、深刻な床上浸水被害が発生しました。

養父市内で床上浸水被害にあった住宅は 196 棟。その内、八鹿町宿南地区が 125 棟と被害の約 6 割が同地区に集中しました。

同地区では、2 階まで浸水する家屋もあり、市民のみなさんは自宅の 2 階に避難するなど不安な一夜を過ごされました。また、床上浸水によ

り、家屋をはじめ家電製品、自動車、衣類などの生活用品が水没し、生活基盤に甚大な被害を受けました。同地区では台風が過ぎ去った 21 日から復旧作業が始まり、住民のみなさんは、水没した家財の片付けなどに追われました。

市災害対策本部は 21 日午前 9 時、宿南ふれあい倶楽部に現地災害対策本部を設置。災害ごみの撤去や道路清掃、地元区長さんとの連絡調整、食事の炊き出しなど、生活基盤に大きな被害を受けたみなさんの復旧作業支援と生活支援を行いました。

また、市内外から支援物資として毛布や衣類、靴、タオルなど多くの生活用品が届き、水害によって多くの生活用品が使えなくなっていた被災者のみなさんに喜ばれました。

このほか、県の災害派遣医療チームが同現地本部に仮設無料診療所を開設し、24 時間態勢で被災者の救急医療にあたりました。

井戸兵庫県知事が被災地を視察

10 月 30 日、被害の大きかった八鹿町宿南地区に井戸敏三兵庫県知事が被災地視察に訪れました。

井戸知事に対し、佐々木市長と同地区の区長さんが被災状況の報告を行い、被災者への県からの強力な支援を要請しました。

説明を受けた井戸知事は、被災家屋を歩いて回り、復旧作業に汗を流す被災者を激励しました。



現地災害対策本部(宿南ふれあい倶楽部)で宿南地区の区長さんから状況説明を受ける井戸知事(右)

459 人の方が 災害復旧支援ボランティアに

養父市社会福祉協議会では、被災者の復旧活動を支援するため災害復旧支援ボランティアを募集。市内外から延べ 459 人の方がボランティアとして被災者の復旧活動支援を行いました。

ボランティアのみなさんは、深刻な水害を受けた八鹿町宿南地区を中心に活動を行い、被害を受けた家財の片付けや水路に埋ま

った泥の撤去、炊き出しなどの支援活動に取り組んでいただきました。

これらの取り組みは、連日の片付けなどで疲労が溜まっている被災者にとって大きな力となりました。



水路の泥をかき出すボランティアのみなさん